



下水直結式 仮設トイレを整備

公明党横浜市会ニュース
横浜市議員(港南区)

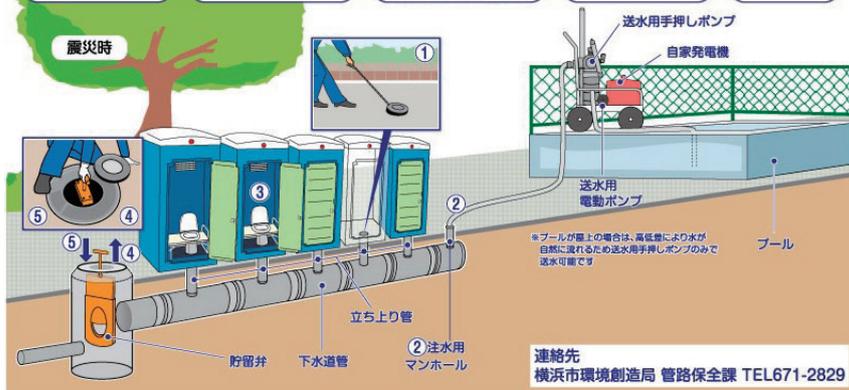
安西 ひでとし

災害時下水直結式仮設トイレ案内

ここには、仮設トイレ下水道管が設置されています

使用方法

- ①立ち上り管の蓋をはずし、仮設トイレを設置する
※蓋をあける工具は防災倉庫に保管
- ②注水用マンホールから下水道管に水を貯める
※プール水・水道水を活用/約500L
注水用マンホールからの容量は貯まった事を確認
- ③トイレが使用可能になる必ず、下水道管に水を貯めてから使用
※貯めた水が、トイレからの汚物やペーパーを滞留し、排水しやすくなります
- ④約500人使用したら貯留弁をあげ、排水する
※1日1〜2回程度/一気に排水
- ⑤下水道管が空になったら貯留弁を閉める



「仮設トイレの整備」

「バス停ベンチの設置」

学校の4校に設置が決まり、3月末までに整備が完了します。震災が発生した場合、トイレは非常に重要な問題です。新たに整備する下水直結式仮設トイレとは、耐震性の高い下水道管に直接接続する仮設トイレで、一定程度利用した後は排水することができ、衛生的で食中毒などの二次感染を防ぐことが期待できます。また、バリアフリー設計で障害者の利用も想定されているほか、段差がない洋式トイレを採用しているため、高齢者でも安心して使うことができます。今後も整備のスピードアップを要望していきます。

バス停

ベンチを設置

公明党横浜市会議員団は災害時の対策として地域防災拠点や復旧活動の中心的役割を担う市区庁舎、負傷者が集まる災害拠点病院に「下水直結式仮設トイレ」を計画的に整備することを横浜市に要望していました。

その要望が実り、永野小学校、小坪小学校、日野小学校、港南中

横浜市中でも港南区は公共バスの利用が多い地域ですが、待ち時間をなるべく快適に過ごせるようにと、私はバス停にベンチの設

2014年度バス停ベンチ設置箇所

- ・桜台(久保坂方面)
- ・中永谷(般若寺橋方面)
- ・日野公園墓地入口(清水橋方面)
- ・日野中央公園入口(鎌倉街道、清水橋方面)
- ・永野新橋(ゆりの木通り方面)
- ・芹が谷山谷(水道橋下方面)
- ・日下小学校前(打越方面)
- ・清水橋(鎌倉街道、原方面)
- ・港南車庫入口(清水橋方面)
- ・新吉原橋(上大岡方面)
- ・関の下(上大岡方面)

置を要望してきました。

今回、その要望が実現し、今年度末までに港南区と交通事業者の協働事業として区内11カ所のバス停にベンチが設置されます(対象バス停は左記表参照)。この11カ所は、区内71カ所のバス停のうち、乗車客数が多く、地元の自治会町内会からベンチ設置の要望書が提出されているの中から選ばれたものです。

一方で、まだ整備対象となるバス停は残っていますので、来年度も引き続きベンチの設置を図り、高齢者をはじめ、例えば障害者、乳幼児連れの保護者などの利便性が高まるように努力を続けていきます。

